

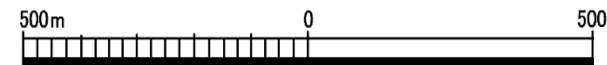
権現山・閑居山
コース
(180分・220分)



石岡市

かすみぐら市

権現山コース
閑居山コース



この地図は、国土地理院電子地形図 25000 を加工したものである。

雪入山てくてく

雪入しぜんの道8 一権現山・閑居山コース

コースの概要

雪入ふれあいの里公園からあきば峠まで登り、権現山までの往復コースと閑居山を周遊するロングコースがあります。全行程約10~11km 最高地点310m

権現山コースの所要時間（180分）

ネイチャーセンター→15分→七曲分岐→10分→林道→15分→あきば峠→10分→黒文字平→15分→浅間山入口→15分→弘法石→20分→御野立所→20分→弘法石→15分→浅間山入口→15分→銀命水→10分→七曲分岐→20分→ネイチャーセンター

閑居山コースの所要時間（220分）

ネイチャーセンター→15分→七曲分岐→10分→林道→15分→あきば峠→10分→黒文字平→15分→浅間山入口→15分→弘法石→20分→御野立所→15分→果樹試験場→15分→閑居山入口→10分→百体磨崖仏→20分→尾根道→15分→浅間山入口→15分→銀命水→10分→七曲分岐→20分→ネイチャーセンター

コースの見どころ

雪入ふれあいの里公園



あきば峠



黒文字平からの筑波山



御野立所



ネイチャーセンターは、雪入山の自然情報の拠点施設です。ハイキング情報の案内やマップも配備されています。

かすみがうら市上佐谷と石岡市弓弦^{ゆずり}を結ぶ青木葉林道の峠。

黒文字平には、ベンチが設置されており、雄大な筑波山を眺めながら休憩をとることができます。

昭和4年11月15日、陸軍特別大演習の際、昭和天皇の御統監を記念して、標高99.5mの権現山山頂に御野立所の碑が建立されています。

金堀穴



閑居山中興の僧、有慶の名が刻まれた巨石と金堀穴。

金堀穴は、奥行き15m。

百体磨崖仏（県指定文化財）



閑居山の中腹、標高140mほどのところに、百体磨崖仏があります。花崗岩の巨岩が数多く存在しますが、この巨岩に仏像が薄肉彫で刻まれています。中興の祖、乗海によるものと伝えられ、鎌倉時代のもと考えられています。

助六地蔵



助六地蔵は、下佐谷村の“義民”助六ゆかりのお地蔵様です。助六は、安永7年(1778)に起きた、通称“助六一揆”の発頭人です。助六一揆は、労役の荷重が直接的な引き金となり、本堂家の江戸屋敷へ強訴に及んだものでした。

発行：雪入ふれあいの里公園